

# かけはし

岩国市立錦中学校だより 第23号

令和3年(2021年) 3月10日(水)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>

## 自ら判断する～3月11日を決して忘れてはならない～

校長 秋本 泰宏

今年、「東日本大震災」が発生してから10年たち、報道でもずいぶん取り上げられています。この事実は、これからも決して忘れてはならない、そして風化させてはならない事実です。そこで3月の月頭集会では、「東日本大震災」をとりあげ、次のような話をしました。

東日本大震災では、多くの方が亡くなり、多くの建物が損壊しました。この地震では、津波による甚大な被害が発生しました。死者は2019年12月現在で、約15,000人（うち小中学生が約350人）、行方不明者は約2,500人で、現在避難生活をしている方は、約5万人もいます。また、親を亡くし、ひとりぼっちになってしまった震災孤児は、約240人います。皆さんと同じ中学生が、寂しさをこらえて頑張っています。

その中で、地震があった岩手県釜石市の小学生は1,927人、中学生は999人の命が助かり、子どもたちの生存率は、99.8%でした。マスコミでは「釜石の奇跡」といって褒めていましたが、釜石市の人たちは、「これは奇跡ではありません。子どもたちが、普段訓練していたからこそ、できたことなのです」と話しています。

震災当日、岩手県釜石市の小学校では、下校後に地震が発生したため、小学生は、誰の指示もなく自分で考え、判断し、安全に避難しなければならない状況でした。ひとりで自宅から自主的に避難場所に避難した小学3年生。揺れがおさまっても避難しない家族を「津波がくるから」と説得して一緒に高台に避難し、助かった児童。海で釣りをしていた6年生の仲良しグループは、地震が起きたとき、どこに避難しようかと避難場所をめぐって近くのビルにしようか、少し離れた高台に逃げようかと意見が分かれながらも、安全を優先して釣りをしていた岸壁から高台に避難し、助かりました。誰かの指示ではなく、自分たちの体で感じたことをもとに、日頃の避難訓練を生かして行動し、自分の命を救ったのです。

一方、宮城県石巻市の大川小学校では、児童108人のうち、74人が命を落とし、行方不明になりました。地震が発生した14時46分は、「帰りの会」の最中だったそうです。すぐに机の下に隠れて揺れがおさまるのを待ちました。下校を始めていた一部の児童も学校に戻ってきたそうです。放送も使えない状態で、地震発生から15分後には校庭に避難していました。普段の津波の訓練では学校の裏山に逃げるようになっていましたが、そのとき裏山は、木も倒れかかり、雪もあって、校庭に残るか、津波を避けてどこに逃げるか先生方も迷っていた結果、避難をはじめたのは15時25分頃になってからでした。そして、運命の15時37分、堤防道路の付近にいた児童が津波に一気に飲み込まれました。

一瞬の判断の違いが、このような悲しい結果を生みました。幸い山口県はこれまで大きな地震に見舞われていません。しかし、このような事実があったことを、私たちは、しっかりと覚えていることと、命の大切さや自然の計り知れない力を理解して生きていくことが大切です。そして、どんな環境にあっても、「自分の命は、自分で守る」ことを心がけ、正しい判断ができる人間をめざしてください。

## 自己実現をめざして～キャリア教育講演会～



講演中の講師の先生

2月8日（月）6校時、現在世界で活躍されている指揮者の方を講師にお招きして、キャリア教育講演会を開催しました。

講演会では、講師の先生から「自分の好きなことを突き詰めていくと、他のものも好きになる」、「新型コロナウイルスのため活動の自粛を余儀なくされているが、まだまだヨーロッパを回って指揮をする夢は続いています」といった夢を実現する希望あふれる言葉をいただきました。

講演会後の生徒の感想には、「ひとつの夢を持ち続け、精一杯努力して目の前に壁があらわれても、あきらめず

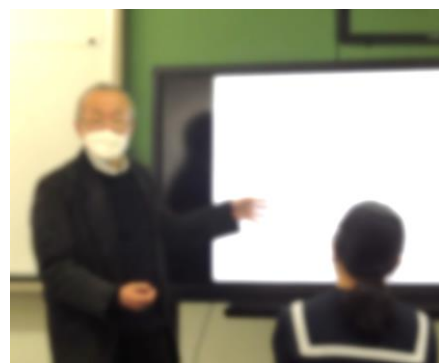
色々な工夫をして、講師の先生のように夢を実現できるように頑張りたい（1年生男子）」など、夢に向かって頑張る気持ちが記されていました。

## 第4回 心の健康教室

2月25日（木）6校時、第4回心の健康教室を開催しました。今回は、嫌だな、失敗したなどと思うような出来事でも、考え方を変えれば、よかったことになるという、「陽転思考」について学びました。いくつかの例をもとに、みんなで「よかった」を探して発表し合いました。

授業後の生徒の感想には、「いろんなよかったがあってよかった」「考え方を変えると楽になることもあるかもしれないと思った」といったものがありました。

最後にSCの先生は、どんな小さな「よかった」でも良いので、自分や相手を認めることの大切さをお話しされました。



SCによる陽転思考の授業

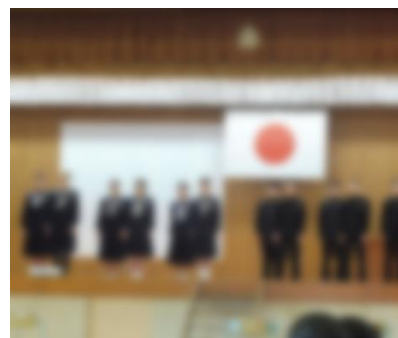
## 3年生ありがとうございました（3年生を送る会）



学年を超えてクイズに挑む



寄せ書きのプレゼント



3年生合唱「ひまわりの約束」

3月5日（金）6校時、生徒会役員企画・運営による3年生を送る会を実施しました。1、2年生と3年生が混合のチームを編成し、クイズを競ったり、1、2年生の心のもった寄せ書きを贈ったりするなど、3年生に感謝の想いを伝えるために1月から生徒会役員が企画していました。そのお礼として、3年生は「ひまわりの約束」という歌のプレゼントをしてくれました。お互いに相手を思いやる温かい送る会でした。